

爆ぜる[※]

～全国初2枚組防火ポスターに大谷翔平選手登場～

北海道 札幌市消防局

札幌市消防局では、本格的な採暖期を迎え、火災の増加が懸念されることから、平成28年10月15日（土）から同年10月31日（月）まで実施した「秋の火災予防運動」に合わせ、防火ポスターを作成しました。

北海道札幌市に本拠地を置く、北海道日本ハムファイターズ（以下「ファイターズ」という。）の大谷翔平選手をポスターモデルに、投手版と野手版の2種類を1セットとし、2枚組の防火ポスターによる火災予防広報は全国初の取組であることから、今回紹介させていただきます。

はじめに

札幌市消防局が実施している広報・啓発は、

- ① 市民生活の安全・安心のための防火・防災に関する情報の発信、
- ② 消防業務への市民の理解と協力を促進する広報活動の2つに重点を置き、様々な取組を実施しております。

市民に情報を発信する際には、誰もが理解でき、印象に残るような広報を心掛け、「安全・安心を誇れる街さっぽろ」の創造を目指しております。

起爆剤として

今回のポスターは、

- ①住宅用火災警報器の設置促進を図ること、
- ②市民へ火災予防を呼び掛けること

を目的として作成しました。

札幌市では、平成18年の住宅用火災警報器の設置義務化から10年が経過し、更なる設置促進を図っていくための起爆剤として、ファンのみならず、札幌市民に夢と希望を与え続け、胸を熱くさせるファイターズに注目し、チームの中心選手である大谷翔平選手をモデルに防火ポスターを作成したいとの思いが今回の取組のきっかけとなりました。

火災予防でも二刀流

ポスターデザインは、投打の二刀流で活躍する大谷翔平選手にあやかり、投手版の「封じろ火災」と野手版の「火災撃退」のキャッチコピーとともに躍動感あふれる姿で火災予防を呼び掛けるものとなっております。



札幌市消防局の作成した2種類1セットのポスター

また、札幌市公式ホームページの住宅用火災警報器のページにつながるQRコードを載せることにより住宅用火災警報器の設置促進を図っています。



札幌市公式ホームページをリンク先としたポスターのQRコード

当ポスターは札幌市内の公共施設、JR駅、大型商業施設、学校などに掲示され、ファイターズのリーグ優勝も重なったことから、広報効果は絶大なものとなりました。

多くのメディアに囲まれて

札幌市消防局では、今回の取組が市民への効果的な広報につながったことから、ポスターモデルとして御協力いただいた大谷翔平選手に対し、消防局長の大島から感謝状を贈呈いたしました。



感謝状贈呈式で記念撮影

贈呈式の中では、大谷翔平選手から「火の用心と言いますが、火災が起きる前に用心してほしい。」と市民に向けた火災予防メッセージが伝えられ、その模様はテレビや新聞など多くのメディアで取り上げられました。

今や日本野球界を代表するスター選手である大谷翔平

選手をポスターモデルに起用したことでの話題性と全国初の2枚組防火ポスターの登場による話題性の相乗効果により、注目度が極めて高いものになったと思われます。



札幌市消防局の業務帽を被り笑顔を見せる大谷翔平選手

更なる広報・啓発に投じた一球

さらに、大谷翔平選手からは、ポスターと住宅用火災警報器にサインをいただきました。大谷選手のサイン入りポスターと住宅用火災警報器は、札幌市民防災センターに展示され、同センターを訪れた市民へ「火の用心」の呼び掛けと住宅用火災警報器の設置促進のPRを併せて実施しております。



札幌市民防災センターに展示の大谷選手のサイン入りポスター及び住宅用火災警報器

おわりに

今回の取組では、多くのメディアに取り上げてもらうことができ、市民の印象に残る効果的・効率的な広報・啓発につながったと感じております。

しかしながら、私たち消防職員の責務は、国民の生命・身体及び財産を火災から保護することにあります。

今回の取組により火災被害に遭われる方が一人でも、火災件数が一件でも少なくなることを切に願うとともに、「安全・安心を誇れる街さっぽろ」を創造するため、市民に伝わる広報・啓発に取り組んでまいります。

(※「爆ぜる」とは、ファイターズ2016年チームスローガンであり、現状に甘んじることなく、常に新しい挑戦をし続ける意気込みを表現しています。)